

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

建設業を通じて地球環境保全に努め、技術の研鑽により都市開発・インフラ整備に総力を挙げ邁進する。しかし、ここ数年熊本を襲う自然災害の規模は極めて増大している状況の中で、建設業としての立場を再認識し、更なる技術の研鑽を重ね、次世代を担う子どもたちに豊かな地球環境と住みやすく美しい街を残すために社員一同全力を傾ける。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	環境負荷の削減に向けて、電力、燃料等のエネルギー使用量を削減し二酸化炭素 Co2 の排出量を削減	環境負荷の 4%削減(2021年→2023年)
◎環境 ◎社会 ○経済	産業廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上、水使用量の削減、環境に配慮した工事(騒音・振動・排出ガス削減)、地域貢献活動の推進	環境並び地域住民の生活に配慮しながら、地域に根差した企業として、安全施工・地域貢献活動を実施する。
○環境 ○社会 ◎経済	社員の新規・中途の採用と外国人技術者・実習生の雇用を実施し、技術資格の取得を推進する。	中途採用 2 名、外国人技術者 2 名、外国人実習生 2 名の雇用を継続実施

<パートナーシップ>

建設業は、地域住民との関りが大きく、住民の生活に支障が無いように、工事の施工計画を構築し、信頼関係を第一に安全施工を実施する。社内においては、社員同士のコミュニケーションを図るとともに、技術の研鑽・指導を行い、働きやすい環境を整備する。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。